

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	公共交通維持改善事業（交通政策課分）		事業期間	平成 29年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	生活バス路線への運行補助、宇高航路、離島航路に対する補助及びノンステップバス購入に対する補助などを行うことで、公共交通の維持や利便性の向上を図り、良好な交通環境を確保する。 生活バス路線補助（路線バス及びコミバス等に対する運行補助、コミバス等の導入検討に対する支援、ノンステップバス減価却費補助等） ・I r u C aシステム運用支援（機器補助、割引差額補助） ・宇高航路補助 ・離島航路補助				
	29年度概要 ・生活バス路線への助成 ・宇高航路への助成				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）



【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「公共交通の利便性の向上」及び「地域主導型の持続可能な公共交通の構築」を図ることで、移動しやすく利用しやすい交通環境を確保し、公共交通に対する満足度を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
コミュニティバス等利用促進協議会開催回数	回			7	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	公共交通機関利用率	%	目標値			15.3	15.5	15.7
			実績値			14.7		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 公共交通旅客施設のバリアフリー化、ノンステップバス導入の推進による利用環境の改善を図ることなどにより、公共交通機関の利用者を向上させる。 （目標達成度） 							
成果指標	コミュニティ交通路線数	路線	目標値			6	7	8
			実績値			5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） コミュニティバス等の運行や変更を希望する地域住民が設立する組織に対し、資金計画等を策定するための活動等を支援する制度の活用を働き掛けるとともに、地域が主体的に関わるコミュニティ交通の必要性などを周知・啓発することで、公共交通空白地域へのコミュニティ交通の導入を図る。 （目標達成度） 							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	150,485	133,734	107,998	107,125
（事業費）	[円]	132,032	114,541	94,651	93,778
（職員人件費）	[円]	18,453	19,193	13,347	13,347

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

今後の現行バス路線再編に伴い、交通結節拠点を発着するフィーダー路線については、従来の補助制度の適用対象外となり、路線維持や利便性の確保に影響が生じることが考えられる。
そのため、ノンステップバス購入や公共交通空白地域に対するコミバス等の運行支援など、良好な交通環境を確保する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

小型を含めたノンステップバス購入補助や、コミバス等の運行に対する支援制度の拡充など、持続可能な公共交通ネットワークの形成に取り組んでいく必要がある。